

議員提出議案第3号

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書について

このことについて、生駒市議会会議規則第13条の規定により、上記の議案を提出する。

平成28年3月 日

提出者 竹内ひろみ

賛成者 浜田佳資

〃 久保秀徳

## 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書

政府は、一昨年の「全国消費者物価指数」（＋２．７％・総務省）を受けて、昨年１月３０日、２０１５年度年金を０．９％増額改定した。物価が２．７％上がったにもかかわらず、年金は０．９％しか上がらなかった。これは、「マクロ経済スライド」の初めての適用などによるものである。貧困化が深刻な中、年金の大幅な実質低下は年金受給者の生活に大きな打撃を与え生存権を脅かしている。

その上、政府は、「マクロ経済スライド」を使ってこの先３０年間年金を下げ続けることを見込んでいる（平成２６年財政検証結果・厚生労働省）。しかも、この仕組みをデフレ経済下でも適用できるようにする見直し法案も予定している。

３０年間にもわたる年金削減は、現在の高齢者だけの問題ではない。長期間にわたる削減は、将来の高齢者の年金額の大幅な低下につながる事が予測される。したがって、将来の高齢者つまり現役の人々にとっても年金削減を取りやめることは切実な願いである。

また、国民の生存権を守る全額国庫負担の「最低保障年金制度」も欠かせない。

さらに、隔月払いの年金支給を毎月払いにすることは、受給者の切実な願いに応え、国際基準に合わせることである。これはする気になればすぐにでも実現できる課題である。

国においては、以上の趣旨を理解され、下記の事項を実現されるよう強く要望する。

### 記

- １．年金削減を取りやめ、そのための「マクロ経済スライド」を廃止すること。
- ２．全額国庫負担の「最低保障年金制度」を実現すること。
- ３．現在隔月払いの年金支給を毎月払いにすること。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

平成２８年３月 日

生 駒 市 議 会